

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立城東小学校

令和8年4月

大阪市立城東小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

大阪市教育振興基本計画の 4 年目は、校内アンケートで、肯定的に回答する保護者が昨年度よりも増加した。これは、「みんなちがってみんないい」のテーマのもと、一人一人の多様性を大切にしたい学校運営が理解されたためと考える。また、児童が主体となる半日運動会改めて 2 年となる城東スポーツフェスティバルや一人一台 PC の活用率の高さや Canva の活用、自己調整学習の推進、チーム担任制、教科担任制や学年内教科入替制、標準服の自由選択制などにおける本校独自の取組や情報発信などが評価され、学校の思いや考えが理解された結果と考える。また、経年調査から、児童の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」で最も肯定的な回答は平均 86.4 であった。今年度は重点的に取り組み 90%以上としたい。不登校児童の在籍比率は 1.24%→0.75%、完全不登校児童は 0 人と改善された。また、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っていますか」について概ねも昨年度より向上しているが一部の学年で若干下回っている。一方で、3～6 年の教科の標準化得点が平均に届いていないという課題がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。

○令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を、令和 7 年度より 5%増加させる。

○令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率 35%以下の児童の割合を令和 7 年度より 5ポイント減少させる。

○令和 11 年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を 50%以上にする。

○令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和 7 年度より 3ポイント向上させる。

○令和 11 年度の小学校学力経年調査の「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目において最も肯定的に答える児童の割合を 75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 80%以上にするという目標を令和 11 年度において 100%にする。

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1（基準 2）を満たす教員の割合が 100%を令和 11 年度も維持する。

○令和 11 年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。

○小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

○小学校学力経年調査における、「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 73%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査における、「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 80%以上にする。

【その他】

○教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン

【2026 - 2029】」に基づき、教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。

○小学校学力経年調査における、「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立城東小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】 「学校安心ルール」の徹底を図り、適切な個別指導や対応を行い、いじめ・問題行動に組織的に適切に対応する。不登校や児童虐待に関する状況を適切に把握し、首席を窓口として組織的に対応する。	
指標 担当部長を中心として、「いじめ・不登校・虐待」に対して組織的に個別指導ができる環境を整える。(いじめアンケートの毎月実施・スクリーニングシート・月 1 回の対策会議・SC との月 2 回の情報共有)	
取組内容②【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 児童の自己肯定感・自己有用感の向上を図るため、教職員の人権研修会を実施する。	
指標 人権教育部を中心として、自己肯定感・自己有用感の向上を図るための取り組みを年間通して実施し、小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を、各学年で令和 7 年度より向上させる。	
取組内容③【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 キャリア教育の体系的・系統的な推進を図る。(キャリアパスポートの適切な活用)	
指標 キャリアパスポートを効果的に活用し、小学校学力経年調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目に対して肯定的に答える児童の割合を、各学年で令和 7 年度より向上させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立城東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。 ○小学校学力経年調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。 ○小学校学力経年調査における、「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 73%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 「主体的・対話的で深い学び」の推進を図る。ティーチング・エンパワーメント事業の訪問による指導・支援により個別最適な学びによる自ら学習を調整できる能力の育成と協働的な学びによる集団で学ぶことの良さを実感させる。（自己調整学習（「けてぶれ」学習）の推進） ----- 指標 小学校学力経年調査における、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する割合を 45%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向 5、健やかな体の育成】 令和7年度全国体力・運動能力調査において課題となった跳躍力（立ち幅跳び）投げの力（ソフトボール投げ）持久力（20mシャトルラン）の育成を図る（年間を通した取り組みを実施） 児童の体力・運動能力向上にむけた研修会を実施する。 ----- 指標 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 75%にする。	
取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 外国語指導における習熟度別学習の積極的な導入、オールイングリッシュの授業の実施により児童の表現力の向上を図る。そのために、英語指導における教員の指導力・英語力の向上に向けた研修を実施する。 ----- 指標 小学校学力経年調査における「外国語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立城東小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○小学校学力経年調査における、「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 80%以上にする。 【その他】 ○教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026 - 2029】」に基づき、教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。 ○小学校学力経年調査における、「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 一人一台端末の積極的かつ効果的な活用を図る。 ・教員の活用スキルの向上（仕事の効率化、研修による情報共有） ・児童の活用スキルの向上（ソフトの活用能力・多様性に対応） 指標 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 90%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 チーム担任制、教科専科制、学年内教科入替制の積極的な導入と更なる効果的な活用、学校行事の精選、会議の削減、ゆとりの日の設定、長期休業期間における学校閉庁日の設定により教員の長時間勤務の解消を図る。 指標 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026 - 2029】」に基づき、教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。	
取組内容③【基本的な方向 8、生涯学習の支援】図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせやお話会の実施、20 分休憩や昼休みの図書館開放と図書館司書による読み聞かせ、学級文庫の充実などにより、児童が本に触れる機会を増やす。 指標 小学校学力経年調査における、「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点